一般

問 公営合同墓設置への考えは
答 前向きに検討したい

＜並木議員＞
①たきのうえ霊園での墓じまいの件数など、具体的状況は。
②霊園内の「無縁の碑」と記された墳墓への具体的な埋葬条件と埋葬状況は。
③霊園内に共同墓所があるが、草木で覆われ立ち入れる状況になく、長年使用されていないように見えるが、この区画の使用状況は。
又、今後も必要とするのか。

＜清原町長＞
①年々お墓を撤去し更地にする返還手続きが増えてきており、理由は、他町村の墓への移転、永代供養や納骨堂に納める方が増えてきている。
　本年度は11月末現在で19件のお墓の返還があり、改葬は、本年度は11月末現在で42件46柱でした。
②お墓の管理者に対し縁故者の名乗り出がなければ、無縁とみなされ、無縁墳墓に埋葬となる。
　昭和46年に現在の無縁墳墓を建立した、旧墓地内の無縁墳墓・共同墓所から改葬(遺骨移転)しており、現在の無縁墳墓の中のスペースについては、まだ対応できる状況だ。
③昭和46年当初の共同墓地の区画は、霊園内に造成された普通区画と同じ場所にあった。当時、旧墓地から移転申込みが、普通区画として造成された区画よりも上回ったため、共同墓所をもって充てた。
　現在の共同墓所の使用については、設置当初から使用していない状態で、草木などの整備は行ってこなかったのが現状で、現地確認したが、実際に使用するのは、現実的ではないと考える。

＜並木議員＞
オホーツク管内で公営合同墓の未設置は、本町を含めた2町のみであった。新聞報道では、「将来設置には前向きだ」とあったが、合同墓の設置を考えているならば、具体的スケジュールなど、現在の考えは。

＜清原町長＞
後期実施計画（総合計画）の中で予定しており、実施時期については、ほかの町の事例や、ほかの事業と調整を図りながら、前向きに検討していきたい。

＜並木議員＞
他自治体では、生前予約、ペット埋葬可、町外在住者でも受け付けるなど様々な対応をしている。
　設置の際には、供養の形も変化していることを踏まえたうえで、使用に当たり金額設定も可能な限り安価にするなど、柔軟な条件での対応も必要と考えるが、如何か。

＜清原町長＞
使用条件については、様々な意見を踏まえた中で、条件を整備していきたい。
　共同墓所、共同墓地、無縁墳墓、合同墓（合葬墓）については、様々な捉え方があるので、時代に沿った柔軟な対応ができるように考えていきたい。
　また、ペットの件についても考えていきたい。

墓じまいの推移

年　度	お墓の返還件数	改葬の件数
令和元年度	１１件	５４件　６１柱
令和２年度	５件	２０件　２５柱
令和３年度	１４件	５０件　５０柱
令和４年度	１６件	３９件　４３柱
令和５年度	１９件	４２件　４６柱

※５年度は11月末現在